

第 73 回年次大会 研究発表・ポスター・製品展示の募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和 23 年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第 73 回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35 歳以下の学会員の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのおみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

期 日 2020 年 6 月 4 日(木)、5 日(金)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 北へ徒歩約 3 分)

発表募集内容 [] 内はオーガナイザー, _____(下線) はオーガナイザーリーダー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井博幸 (信州大学), 井上真理 (神戸大学), 鞠谷雄士 (東京工業大学), 近藤幹也 (東京都立産業技術研究センター), 朱春紅 (信州大学), 徳山孝子 (神戸松蔭女子学院大学), 堀場洋輔 (信州大学), 森下美樹子 (カケンテストセンター)]

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 被服心理とファッション (からだ, デザイン, マーケティング)

(b) 繊維機械の科学と工学

[喜成年泰 (金沢大学), 太田成利 (村田機械), 橋本欣三 (TMT マシナリー), 牧野智義 (豊田自動織機), 保田和則 (愛媛大学), 山 和史 (津田駒工業)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合繊維機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

[山下義裕 (福井大学), 小野 努 (岡山大学), 中根幸治 (福井大学), 向井康人 (名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピンニング, メルトブローン, 生体材料

(d) スマートテキスタイル

[堀 照夫 (福井大学), 石井佑弥 (京都工芸繊維大学), 椎木 弘 (大阪府立大学), 高橋秀也 (大阪市立大学)]

キーワード: 導伝繊維, スマート材料, 環境, 実装, 情報

(e) 環境対応技術

[豊田 宏 (太陽工業), 内丸もと子 (カラーループ), 小田涼太 (三晶)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

(f) 繊維強化複合材料

[中西康雅 (三重大学), 植松英之 (福井大学), 倉敷哲生 (大阪大学), 谷口憲彦 (アシックス), 仲井朝美 (岐阜大学)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, 複合効果, 傾斜機能, 成形加工, 接着・接合・界面

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本陽子 (神戸女子大学), 高井由佳 (大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修理・修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

2 お知らせ

(h) 染色・機能加工

[安永秀計(京都工芸繊維大学), 上坂貴宏(京都市産業技術研究所), 榎本雅穂(京都女子大学), 奥林里子(京都工芸繊維大学), 解野誠司(和歌山県工業技術センター), 松原孝典(産業技術短期大学)]

キーワード: 染料/顔料/色素, 染色・加工処理剤, 新規材料合成, 染色・機能加工, デジタル染色, 超臨界染色加工, エコ染色加工, ドライブプロセス(電子線/紫外線/プラズマ), 堅ろう度向上, 廃液処理, 環境/持続社会, バイオベースマテリアル, 食品・農芸分野, ヒューマンオリエンテッド

(i) バーチャルテキスタイル

[横山敦士(京都工芸繊維大学)]

キーワード: 繊維製品, バーチャル技術, 数値解析, CAE, CAD

(j) 産業用繊維資材および不織布

[田上秀一(福井大学), 笹山秀樹(福井県工業技術センター), 西村正樹(大阪産業技術研究所), 矢井田修(日本不織布協会)]

キーワード: 産業用繊維資材(テクニカルテキスタイル), 医療・衛生用, 工業用, 土木・建築用, 自動車用, 生活資材用, インテリア用, 寝装用, 皮革用, 二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

[藤田浩行(兵庫県立工業技術センター), 河原喜久(帝人フロンティア), 武内俊次(京都工芸繊維大学), 馬場武一郎(日本毛織)]

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品、技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表(ポスターセッション)の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます(ダブルエントリーでも料金は発表1件分です)。このセッションは1日目【2020年6月4日(木)】に開催します。

3. ポスターセッション

[松岡敏生(三重県工業研究所), 勝圓進(倉敷紡績), 東山幸央(兵庫県立工業技術センター), 廣垣和正(福井大学)]

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー(製品展示・実演も可能)があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【2020年6月4日(木)】に開催します。

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に(製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません)、2020年3月31日の時点で35歳以下の学会員(法人会員を含む)の若手発表者に限って、優秀な口頭発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション(審査対象外)へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に(製品紹介コーナーは該当しません)、2020年3月31日の時点で35歳以下の学会員(法人会員を含む)の若手発表者に限って、優秀なポスター発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月4日(木) 昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表は可能です。ただし、同じ講演題目による学術奨励賞への応募はできません。

発表申込方法

後日、申込サイトを公開します。

発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切: 2020年2月14日(金) 17時必着

原稿提出締切: 2020年4月10日(金) 17時必着

その他

- (1) 講演時間について (予定)
 - 一般講演：講演時間 20 分 (講演 15 分, 質疑応答 4 分, 次の演者との交代 1 分)
 - セッション基調講演：講演時間 40 分 (講演 35 分, 質疑 4 分, 次の演者との交代 1 分)
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み (ダブルエントリー) の場合は, 重複申し込みしている旨をご記載下さい.
- (3) 要旨集の配布は, 紙媒体 (冊子) とダウンロード方式 (期間限定) による配布を行います.
- (4) 講演要旨集の発行日: 2020 年 5 月 28 日 (木)
- (5) 原稿は, 学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き, 書式にしたがって A4 判 1 頁または 2 頁にまとめて下さい. 書式から大きくはずれた原稿は受付できません.
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 頁で作成して下さい.
- (7) ポスターボードの大きさ
 - ①学術研究発表コーナー: たて 1170 mm, よこ 870 mm
 - ②製品紹介コーナー: たて 841 mm, よこ 594 mm
- (8) 参加登録費 (事前登録日以降の登録 (当日を含む) は各々 2,000 円追加)

会員種別	発表者	発表されない参加者
会 員	8,000 円 (不課税)	8,000 円 (不課税)
非会員	8,000 円 (税 別)	13,000 円 (税 別)
学生会員	3,000 円 (不課税)	3,000 円 (不課税)
学生非会員	5,000 円 (税 別)	5,000 円 (税 別)

※学生非会員の方: 学生会員の年会費は 2,000 円です. この機会にご入会ください.

- (9) 発表者は自動的に参加登録されます. あらかじめご了承下さい.

問合せ先 日本繊維機械学会 第 73 回年次大会実行委員会
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) 年次大会特集号原稿募集

ジャーナル編集委員会では年次大会特集号の発行を計画しております. 本学会では現在, 論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) を隔月で刊行しており, Original Paper, Short Paper, Review, Technical Report それぞれのカテゴリーの論文を掲載しています. 特集号では, このうちの Original Paper と Short Paper として掲載できる研究論文を募集します.

Original Paper は, 繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり, 信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの. 原稿の長さは, 原則として刷り上がり 8 頁以内です. Short Paper は Original Paper と同様に未刊行の内容ですが, 理論・実験・技術における新しい進歩を速報するための論文です. 将来において充実した論文に完成させることを前提としたもので, 原稿の長さは, 原則として刷り上がり 4 頁以内です.

この特集号では, 第 73 回年次大会 (2020 年 6 月 4 日, 5 日開催) において研究発表を行う皆様を対象に, 投稿希望の有無を申請いただき, 通常と同じ査読審査をより迅速に行うことで年次大会特集号に論文を掲載するものです. 本特集号が, 最新の繊維関連研究を俯瞰できる内容となることを意図しております.

本特集号に論文の掲載を希望される方は, 学会の論文投稿規定に従って作成し期日までにご提出ください. 皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております.

- 【原稿種別】** Original paper と Short paper
- 【投稿期日】** 2020 年 5 月中旬
- 【掲載費用 (別刷り料金)】** 有料
- 【発行予定】** 第 66 巻, 第 5 号 (2020 年 10 月発行予定)

2020 学術ミキサー（繊維系 3 学会共催）

新年を迎えるにあたり、繊維関連の3学会（日本繊維機械学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会）共催による「2020 学術ミキサー」を大阪で開催いたします。3学会共催による開催も6年目となりました。

今回は、株式会社アシックス 取締役 西脇剛史氏に「繊維が創るスポーツ健康社会」と題してご講演いただきます。

(株)アシックスは、神戸で創業した鬼塚(株)が原点であり、プロ・アマに限らずアスリートたちの願いに応えるべく、構造開発のみならず、ソールなどの材料開発を自社で行い、バイオメカニクス（=生体力学）に基づいて高機能・高性能のスポーツ用品・アパレルの開発に力を入れている企業です。

西脇氏は、大学時代は高分子化学を専攻され、スポーツ工学研究所に配属、スポーツ工学研究所所長、執行役員を歴任され、現在取締役として、中国部門を担当しておられます。また日本繊維機械学会の副会長、フェローでもあります。トップアスリートのみならず、アマチュアの人たちが安全にスポーツを楽しむことができるようにすることが大事、といつもおっしゃっています。ご講演では、SDGsで謳われている健康の観点でも大事な位置を占めるスポーツと、繊維のかかわりについてお話いただきます。

交流会では、平素よりご支援、ご指導をいただいております大学、研究機関、企業の方々、ならびにご厚誼をいただいております関連団体の方々との間で情報交換をしていただきながら、3学会の会員同士の連携や繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

期 日 2020年1月24日(金) 14.30~17.00 (受付14.00~)

会 場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

共 催 日本繊維機械学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会

内 容 予定

14.30~14.45 3学会の役員挨拶

14.45~15.45 講演「繊維が創るスポーツ健康社会」

..... (株)アシックス 取締役・フェロー 西脇剛史
ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ関西と世界規模のスポーツ大会が国内で連続開催される昨今は、スポーツをより身近に感じることができる貴重な機会と言える。こういった背景を受けて開発されるスポーツ製品は、アスリートのみならず、スポーツを楽しむすべての方々のライフスタイルを豊かにするミッションを負う。このため、主たる構成要素である繊維が果たすべき役割は大きい。本報告では、スポーツ用品の開発を通じ、健康社会への繊維の貢献について報告する。

15.45~17.00 交流会 (軽食, 無料)

参加費 3,000円 (税別)

定 員 70名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

申 込 「2020 学術ミキサー」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別、⑤交流会参加の有無を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。以下サイトより WEB 申込みができます。

https://tmsj-orjp.sslwww.jp/lecture/20200124_mixer/entry_lecture.php

申込先 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

繊維リサイクル技術研究会第135回情報交換会 ～繊維製品はいかに作られ、いかに処分されようとしているのか！～

期 日 2019年12月11日(水) 13.30～17.00

会 場 京都工芸繊維大学 13号館 4F 多目的室 (京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

内 容

13.30～13.40 開会挨拶

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

13.40～14.20 話題提供「ユニフォームリサイクルの現状と将来展望 (SDGs と 服育)」

..... (株) チクマ 環境推進室 環境プロジェクト担当 中村尚弘

14.25～15.10 トピックス「ITMA2019 バルセロナ視察記, とくに繊維リサイクル機器について」

..... (一社) 日本繊維技術士センター 理事長 嶋田幸二郎

15.20～16.50 特別講演「持続可能な衣服の生産と消費を考えるー南アジア (バングラデシュとインド) の事例から」

..... 茨城大学 人文社会科学部法律経済学科 准教授 長田華子

16.50～17.00 報告事項等

17.30～19.00 名刺交換会 (希望者のみ, 有料)

共 催 京都工芸繊維大学・繊維科学センター, NPO 未利用資源事業化研究会

参加費 繊維リサイクル技術研究会メンバー無料, 共催団体メンバー無料

名刺交換会 (交流会) 3,500～4,000円程度

問合せ先 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

E-mail : tkimura426@gmail.com

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を一昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12/10(火)	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	開催済	1. 「組物」(0.5日)
		開催済	2. 「織物」(1日)
		開催済	3. 「編物」(1日)
		開催済	4. 「不織布」(1日)
		開催済	5. 「染色加工(基礎)」(1日)
		11/21(木), 22(金)	6. 「染色加工(実務と応用)」(2日)
	製 品	2/7(金)	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		開催済	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		11/20(水)	3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)
		2/4(火)	4. 「資材用繊維」(1日)
		3/9(月)	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ

「実習：感性評価のための布特性」

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、さまざまな条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に、布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019 年 11 月 20 日 (水)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

- (1) 着心地に関わる評価の概説、布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

- (2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定
- 2) 布の圧縮特性、表面特性の測定
- 3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定
3 班に分かれ、ローテーションで実習を行います。
..... カトーテック(株)ならびに井上真理

まとめ 16.30～17.30

- (3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説および質疑応答 (ノートパソコンをご持参ください)
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工（実務と応用）」

テキスタイルカレッジ「染色加工（基礎）」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について原理を含め「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工（実務と応用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の実際の対応や応用技術に関して詳細に解説していただき、さらに高機能加工などの要素技術・省エネ・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容は、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただきます。実務で染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連をはじめコストダウンや環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年11月21日(木)、22日(金)

会 場 大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容

1日目【11月21日(木)】

(1) 染色助剤および機能加工剤（10.00～12.00）

..... 元日華化学，金崎技術士事務所 金崎 英夫
世界的に環境対策・安全性が重視される中で、加工剤薬剤の安全性に対する関心が高まっている。又、欧米を中心に展開されているグローバル認証や機能性の国際規格をクリアするためには、加工処方や加工薬剤の見直しが必要となってくる。そこで今回は環境・安全性・健康・快適性等に関して話題となっている機能性加工剤の業界動向について紹介します。

(2) セルロース系繊維の染色加工（13.00～15.00）

..... (株) 東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顕
基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」と及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現場のサンプルを通して」解説します。

(3) タンパク質系繊維の染色加工（15.15～17.15）

..... 元日本毛織，元日本羊毛産業協会 長澤 則夫
ウールとシルクは代表的なタンパク質系繊維です。外観や手触りが優れているなど繊維としての価値が高く高価という特長があります。繊維構造は非常に複雑でデリケート、そして多くの機能を併せ持っています。そのような特質を理解した上で染色や機能加工を行う必要があります。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の工程での位置付けと実際の注意点を解説します。

2日目【11月22日(木)】

(4) 合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

..... 元帝人，日本繊維技術センター 理事長 嶋田幸二郎
合成繊維及び各種複合繊維使いの織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。単一の繊維素材の知識だけでなく複合素材に対応する知識が必要となっている。長年繊維メーカーで実際の染色加工会社において技術開発および経営管理に従事した経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術を含め、染色および機能仕上加工の応用を重点にして今後の役に立てるようにサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

(5) 捺染加工及び環境技術（13.00～15.00）

..... 元日本染色協会，森本技術士事務所 森本 國宏
1) 人々の生活を豊かにする着衣に、自然界の美しさや抽象的なデザインを配することは、人類の文化として古くから種々の技法が考案され進化を遂げてきた。その技法には一定のルールがあり、かつその応用技術も併せて発展を遂げている。また、ここ数十年間で急激に進化を遂げているデジタルプリントについても基本原理と応用についての理解が必要である。本講座では、この両者の捺染（テキスタイルプリント）についての特徴を理解して頂くように解説します。
2) 染色加工産業は、各種薬剤、水資源、エネルギー多消費産業であり、これらは環境へのインパクトが大きい。ただし、個々の事業所の規模が中小規模であるがために社会的には大きな問題となっていない。しかし、中

小といえども数が集まると近隣地域への環境問題に発展する。染色加工産業の環境インパクトについて日本国内のみならず途上国での実態とその解決法について実務（標準法）と応用技術について事例をあげて理解を深めて頂くように解説します。

(6) 機能性繊維の品質評価 (15.15~17.15)

.....元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例, 機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について, その付与メカニズムと評価方法について解説します。

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 25,000円, 協賛学協会員 25,000円, 非会員 33,000円, 学生会員 5,000円, 学生非会員 7,000円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ染色加工 (実務と応用)」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	大島 直久 (日本染色協会)	高橋 正志 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)
	岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)
	改森 道信 (改森技術士事務所)	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)
	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)
	橋本 嘉顯 (東洋紡カンキョーテクノ)	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)
	森本 國宏 (森本技術士事務所)	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)

テキスタイルカレッジ

「合成繊維（実用）」

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにしています。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2019年12月10日(火) 10.00～17.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 化合繊維概論

種々の化学繊維の特性などを説明し、産業論にも少し触れます。

..... 山崎技術士事務所 代表、京都工芸繊維大学 非常勤講師 山崎 義一

11.10～12.40

(2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質

3大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。

..... 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次

13.40～15.00

(3) 繊維化プロセスと物性－構造と形態の制御－

紡糸工学の概要を説明し、特に複合紡糸を含む溶融紡糸の実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性、形態制御などと関連づけて解説します。

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

15.10～16.20

(4) 合成繊維の高次加工－糸加工、製布

..... 元東レ、日本繊維技術士センター 執行役員 木村 俊彦

合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について説明します。

16.30～17.30

(5) スーパー繊維とその用途展開

..... 東洋紡(株)総合研究所 コーポレート研究所 部長 寺本 喜彦
近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円、協賛学協会員15,000円、非会員23,000円、学生会員3,000円、学生非会員5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ合成繊維（実用）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「資材用繊維」

近年、化学繊維は自動車や建築・土木用途などの“産業資材”，そしてカーペットやオムツなどの“衛生・生活資材”といった「資材用繊維」としての利用割合が増大しています。その一方、それぞれの分野で新しい施工法や利用法が開発されるとともに、その用途に応じて要求される機能や性能も異なるため、資材用繊維素材の開発は高度化しています。また、資材用繊維製品の多様化、利用量の増大に伴い、使用後の回収や処理が課題とされるようになってきました。

そこで本講座では、産業資材用繊維に注目し、その種類や機能、性質、そして製法などの基礎について講義します。また、「自動車」「土木・建築」「水産」という産業資材の中核をなす分野については、それぞれの用途で求められる機能や性能について実例をもとに説明します。さらに、使用済み繊維の回収の仕組みやその処理技術についても講義します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2020年2月4日(火) 10.00～16.30

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 資材用繊維概論 (分類/機能/性質/繊維形態・構造体/製法など)
 福井大学 繊維・マテリアル研究センター 教授 田上 秀一

11.10～12.10

(2) 資材用繊維の用途と機能

2-1 自動車分野

..... トヨタ紡織(株) 繊維開発生技部 繊維技術室 繊維開発 G 若山 篤樹

13.10～14.10

2-2 土木・建築分野

..... キョーワ(株) 開発・技術部 本部長 梶原 幸治

14.20～15.20

2-3 水産分野

..... ユニチカ(株) 産業繊維事業部長 迫部 唯行

15.30～16.30

(3) 資材用繊維と環境 (使用済み繊維の回収・廃棄等の現状, そしてリサイクルなどの技術について)
 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ資材用繊維」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「アパレル製品設計の基本」

最終製品としてのアパレルの製造とその性能、性能試験法、企画設計に関わる流行について学びます。

アパレルは、人のサイズや体型に合わせて作られ、着用時に必要な性能、耐久性を備えて製品として販売されます。その時代の流行にあわせて企画デザインすることも必要です。さらに現代の生活の中では、地球環境規模、有限の資源を前提として、生活する人間の健康を踏まえ、より豊かな、安全な、美しい外観の、快適な着心地が得られるアパレルを設計することが望まれています。

消費者には、その人にとって魅力的な着想を考え、適正な取り扱いをして長く着ていくとともにリサイクルと廃棄について最適なアパレルを選択することが望まれます。時代とともにアパレルに対する消費者の意識も変化していく中、アパレル製品を企画設計するうえで必要な知識を身につけると共に、これからの時代に求められる製品設計のための一助になると考えます。

基礎から解説いたしますので、材料展開をはかる営業の方、販売の方々もご聴講ください。

期 日 2020年2月7日(金) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～10.30

(1) 概論

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理
1970年代、80年代のアパレル用布地と現在用いられている布地とを比較してみると随分様変わりしました。海外から価格の安い製品が多く入ってくる中、日本国内の生産現場の事情も大きく変化しています。そのような背景の下で、本テキスタイルカレッジの流れを概説します。

10.30～11.10

(2) 人体と衣料サイズ

..... 元(株)ダーバン、相馬技術士事務所 相馬 成男
アパレル企業が、身体にフィットした衣服を企画・設計して製造するためには、ターゲットとする人体の寸法と形のデータが必要です。また、消費者は衣服購入時にサイズを必ず確認します。ここでは、人体計測法とJIS衣料サイズシステムの基礎および現在検討が進められています衣料サイズ国際標準化の動きについて講義をします。

11.20～12.00

(3) パターンメイキング・グレーディングの基礎

..... 元(株)ダーバン、相馬技術士事務所 相馬 成男
デザイン画をもとに、アパレルの製品化させるために、パターンメイキングすなわち型紙の作成がなされます。原型の作成からデザインパターンへの展開、プロダクトパターンの作成について説明します。また、基準サイズからの他のサイズへの展開であるグレーディングについても説明します。

13.00～14.20

(4) アパレル製造工程

..... (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之
デフレ経済という時代の流れと共に、日本のアパレル業界は、生産の多くを海外シフトし、いつの間にか日本国内で生産現場に接する機会は激減してしまいました。現場を知る事は、商品としての付加価値を理解する為にも非常に大切な事です。あらためてアパレル製品の企画立案から物づくりの一連の流れを、時間軸をベースに説明します。

14.30～15.10

(5) 布の実用性能

..... (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 堀江ラボ 試験グループリーダー 森 秀樹
アパレル製品を作成する時の基本として、生地選びの際の基本性能確認とも言える、染色堅ろう度試験や物性試験及び安全性確認としてのホルムアルデヒド試験、生地素材の混用率試験の簡単な説明と、代表的な機能性試験を説明します。

15.20~16.00

(6) 商品表示と品質保証（衣料品の事故事例）

……………(一財) ボーケン品質評価機構 大阪試験センター 試験課 係長 椎葉竜太郎
 商品に付記する表示は、その商品情報を消費者に正確に伝えるために重要なもので、商品の顔と言っても過言ではありません。商品表示の種類と役割について簡単に説明します。また、より良いものづくりの参考に、実際に発生した衣料品の事故事例を紹介し、その原因について説明します。

16.00~17.00

(7) 流行の周期「人の感性がつくる流行の周期」

……………(株)感性リサーチ 研究員 手塚 祐基
 大好きだった去年の服が、今はもう着たくない。そんな気持ちになったことはないだろうか？実は、「良いもの」が永久に良いわけではない。好き嫌いの判断も変化してしまうのだ。ある周期で変化する人の感性について知ろう。◇流行はなぜ起こる？商品やブランドの寿命は？◇感性の変化を新商品開発や営業に活かすには？

協賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

定員 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

申込 「テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の品質管理と品質保証」

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、元 TMT マシナリー(株)の中田様、津田駒工業(株)、京都工芸繊維大学の武内様から解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 2020年3月9日(月) 9.30～17.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

9.30～10.30

(1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明

……………(一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 部長代理 中根 勲

10.40～11.40

(2) 機能性試験の内容と評価基準

……………元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

11.50～12.50

(3) 製品クレームの事象と対策例

……………(一財)ボーケン品質評価機構 大阪試験センター 試験課 係長 椎葉竜太郎

13.40～14.40

(4) 溶融紡糸工程における品質欠点と最終製品への影響

……………元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所 代表 中田 賢一

14.50～15.50

(5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

……………村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

16.00～16.50

(6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………津田駒工業(株) 繊維機械技術部 参与 伴場 秀樹

17.00～17.50

(7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内 俊次

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

北陸支部 **令和元年度日本繊維機械学会・繊維学会
北陸支部研究発表会**

期 日 2019年11月28日(木) 13.00～17.33

会 場 金沢大学 金沢駅前サテライト (駅前ハナレ) (金沢市広岡1-2-20 毎日新聞北陸ビル3階)
会場へのアクセスは <https://www.beatles-daigaku.com/access/> をご覧ください。専用の駐車場はございませんので、お車でお越しの場合は駅周辺の有料駐車場をご利用ください。

内 容 (発表12分、質疑5分)

13.00 開会の挨拶

13.05～14.13 研究発表・座長 (新谷隆二 (石川県工試))

(1) SMA 編地のアクチュエータ特性に及ぼす編構造の影響

○佐藤洋平 (金沢大院・自然), 樋口雄亮
中島明哉 (石川県工試), 若子倫菜 (金沢大), 喜成年泰

(2) 導電性編物による体圧分布測定敷布を用いた褥瘡予防システムの開発と評価

○宅間 陸 (石川高専), 藤岡 潤

(3) 導電糸の屈曲耐久性に関する研究

○渡邊智晴 (福井大院・工), 植松英之 (福井大), 田上秀一
帰山千尋 (福井県工技術セ), 辻 克宏, 笹山秀樹

(4) 型を用いたCNT 紡績糸結索機の通入特性シミュレーション

○中田登志輝 (金沢大院・自然), 菊地遵一 (金沢大), 喜成年泰

14.13～14.23 休憩

14.23～15.31 研究発表・座長 (喜成年泰 (金沢大))

(5) ナノ繊維糸を用いた編地の試作

○本多倅基 (信州大院・繊維), 坂口明男, 木村裕和 (信州大・繊維)

(6) ポリビニルブチラール-無機ハイブリッドチューブの形成と酵素固定化担体としての利用

○青池 剛 (福井大院・工), 長川拓馬, 中根幸治 (福井大)

(7) 炭素繊維の界面における熱可塑性樹脂の構造と界面せん断強度の関係

○川崎孝啓 (福井大院・工), 吉田 洸 (福井大・工)
山口綾香 (福井大), 植松英之, 山根正睦, 田上秀一

(8) ポリカーボネートと炭素繊維の界面せん断強度に関する研究

○永縄里紗 (福井大院・工), 植松英之 (福井大), 田上秀一

15.31～15.41 休憩

15.41～16.32 研究発表・座長 (中根幸治 (福井大))

(9) 構造発色体の調製を目指したコロイド粒子/セルロースナノフィブリル複合体形成過程における分光反射特性の変化

○阿路川克海 (福井大・工), 石川英明 (福井大院・工), 田畑 功 (福井大), 堀 照夫, 廣垣和正

(10) 不均一核生成により基材表面に形成した静電相互作用型コロイド結晶の熱安定性に及ぼす基材表面電荷の効果

○辻野 翼 (福井大院・工), 田畑 功 (福井大), 堀 照夫, 廣垣和正

(11) 綿布の反応分散染料を用いた超臨界流体染色において添加塩基の特性が染色性に及ぼす影響

○吉野真司 (福井大・工), 中村圭吾, Dalia Nasser Zaghoul (福井大院・工)
田畑 功 (福井大), 堀 照夫, 廣垣和正

16.32～16.42 休憩

16.42～17.33 研究発表・座長 (田上秀一 (福井大))

(12) ファスナーにおけるテープ部織組織としゅう動時引張荷重

○久米 要 (金沢大・理工), 若子倫菜 (金沢大), 小宮山葵 (YKK)

(13) 仮撚加工機の適正な加工条件に関する研究

○圓道瑛太 (福井高専), 金田直人

(14) ディスクフリクション仮撚加工機におけるディスク構成の検討

○佐々遼介 (福井高専), 金田直人

17.33 閉会の挨拶, 表彰式

参加費 無料（ただし希望者には要旨集1部500円にて頒布）

申込先 日本繊維機械学会 北陸支部事務局
〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学 理工研究域 機械工学系内
E-mail : linawakako@se.kanazawa-u.ac.jp

関東支部 令和1年度通常支部年会

期日 2019年12月3日（火）

会場 東京工業大学大岡山キャンパス南8号館811号室（東京都目黒区大岡山2丁目12-1）
最寄り駅：大岡山駅（東急目黒線，東急大井町線）

内容

支部総会（15.30～16.45）

第1号議案 平成30年度事業報告

第2号議案 平成30年度決算報告

第3号議案 令和1年度事業計画案

第4号議案 令和1年度予算案

申込（E-mail または FAX でお願いします）

E-mail : kawahara@gunma-u.ac.jp, FAX : 0277-30-1491

問合せ先（可能な限り E-mail でお願いします）

河原 豊（TEL : 0277-30-1491, E-mail : kawahara@gunma-u.ac.jp）

群馬大学 理工学府 環境創生部門（〒376-8515 桐生市天神町1-5-1）

2020 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

2020 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおよそ 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を 2020 年 1 月 27 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

提出書類 次の書類を 2 部（正 1 部、副 1 部、副は複写も可）提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい）
- (2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など）

選考方法

- (1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について、二次選考（現地調査）を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切 2020 年 1 月 27 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

参考資料 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・ 2017 年度受賞技術

「柔らか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭
..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二
..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

・ 2018 年度受賞技術

「環境に優しい高耐久防汚加工技術」

..... 東レ(株) 竹下 将太, 柄澤 留美, 小森 晋也, 大塚亜津希, 竹田 恵司

「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構」

..... 村田機械(株) 梅原 嘉人, 谷川 保伸, 牟田 勝文, 竝川 哲也

・ 2019 年度受賞技術

「低強度運動用ブラの開発」

..... (株)アシックス 瀧井 靖歩, 森 洋人, 角 奈那子

「暑熱環境下での作業リスク管理システムの開発」

..... 倉敷紡績(株) 藤尾 宜範, 原 泰明, 大月 昌也, 松雪 遼

..... 大阪大学 中江 悟司, 清野 健

..... 信州大学 金井 博幸

創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

2. 応募資格

2019 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

5. 応募の締め切り

2020 年 2 月 3 日(月) 必着

6. 選考結果の発表

2020 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

7. 表彰

2020 年度の年次大会 2 日目に、学会賞授与式を開催します。

賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

2020 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

2020 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、2020 年 2 月 3 日(月) 必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTE に掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
 - (3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず 400 字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL: 06-6443-4691, FAX: 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長	倉敷 哲生 (大阪大学)		
副委員長	杉山 研志 (TMT マシナリー)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	堀場 洋輔 (信州大学)
企画委員	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	秋月 健司 (東レ)	内丸もと子 (カラーループ)
	小川 敦久 (クラレ)	奥野 智朗 (住江織物)	小野 努 (岡山大学)
	梶原 幸治 (キョーワ)	勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)	齋藤 寿叙 (カケンテストセンター)
	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)
	竹本由美子 (武庫川女子大学)	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)
	西田 裕紀 (関西ファッション連合)	野田 博丈 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)
	林 久秋 (豊田自動織機)	深沢太香子 (京都教育大学)	福多 晴子 (カトーテック)
	藤井 智成 (津田駒工業)	本田 元志 (京都市産業技術研究所)	松原 孝典 (産業技術短期大学)
	森 洋人 (アシックス)	森島 英暢 (倉敷紡績)	安井 章文 (東洋紡)
	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)	山田由佳子 (大阪教育大学)	
アドバイザー	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松崎 健 (ミズノ)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

2020年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成19年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、2020年2月28日(金)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名(自薦の場合は不要)を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

日本繊維機械学会フェロー規程

目 的

第1条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー(以下フェローと称す)の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

フェロー候補資格

第2条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴10年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴15年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算20年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

推薦方法

第3条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第4条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

選考方法

第5条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

認 定

第6条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

任 務

第7条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

登録費

第8条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

称号の喪失

第9条 次のいずれか1つに称号認定者が該当するとき、その称号を失う。

- (1) 本人から申し出があったとき。
- (2) 本会の会員資格を失ったとき。

附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成20年3月15日より実施する。
3. 本規程は平成27年1月24日より実施する。
4. 本規定は平成30年11月10日より実施する。

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名(理事)

副委員長 1名(理事)

委員 3名(委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。



新刊

糸とファッション

糸を紡ぎ、布を織る道具・機械の発展とファッションの変遷

著者：日下部 信幸（くさかべ のぶゆき）

978-4-86641-226-9 C3077 A5判並製 304頁 1,800円＋税 東京図書出版

【内容】

糸を紡ぐ道具や機械の歴史的な発展と各時代のファッションとの関わりについて纏められた書。身分ファッションの時代から現代の若者ファッションに至るまでの変遷、産業革命がファッションに大きな影響を与えたことなどが詳細に解説された大変貴重な作品です。

【著者】日下部 信幸（くさかべ のぶゆき）

1962年岐阜大学工学部繊維工学科卒業。工学博士（東京工業大学）。愛知教育大学名誉教授。名古屋学芸大学特任教授、東京福祉大学教授、名古屋学芸大学客員教授を歴任。著書に『子どもと楽しむ・衣生活のもの作りと科学実験』（2005）、『イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館のすべて』（2002）、『生活のための衣服簡易実験法』（1996）、『生活のための被服材料学』（1992）、『楽しくできる被服教材・教具の活用研究』（編著、1990）、『小・中学校でできる被服材料実験』（1985）（以上家政教育社）などがある。



協力行事 **TexComp14** (International Conference on Textile Composites)

TexComp は、テキスタイル複合材料に特化した国際会議です。TexComp カンファレンスは、1992年にルーヴェンで Verpoest 教授のイニシアチブによって開始され、前回（第13回）はミラノ工科大学（イタリア）にて実施し、89件の講演、92名（20カ国）の参加がありました。第14回は2020年9月14日（月）～16日（水）、京都工芸繊維大学にて開催します。この会議では、さまざまな分野で活躍する科学者とエンジニアを結び付けることで、テキスタイルとその複合材料の最近の進歩に関する議論と報告のための場を提供しています。皆様からの発表ならびに参加申込みをお待ちしております。

期 日 2020年9月14日（月）～16日（水）

会 場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町）

Important Dates

Deadline for abstract submission (max 400 words) : 17 January 2020

Notification of acceptance sent to authors : 21 February 2020

Deadline for submission of 8-page papers: 2 April 2020

Deadline for conference registration early bird : 1 June 2020

問合せ texcomp14@mit.eng.osaka-u.ac.jp

その他 詳細は TexComp14HP (<http://tmsj.or.jp/texcomp14/index.html>) をご確認ください。

committees

Co-Chairs Asami Nakai (Gifu University, Japan)

Tetsusei Kurashiki (Osaka University, Japan)

Secretariat Akio Ohtani (Kyoto Institute of Technology, Japan)

Yasumasa Nakanishi (Mie University, Japan)

Local Scientific committee

Masamichi Kawai (University of Tsukuba, Japan)

Toshiyasu Kinari (Kanazawa University, Japan)

Masayuki Kitamura (Hokuriku Fiber Glass Co.,Ltd., Japan)

Masato Nishi (JSOL Corp., Japan)

Kazuya Okubo (Doshisha University, Japan)

Tatsuo Sakakibara (ITOCHU Techno-Solutions Corporation, Japan)

Tadashi Uozumi (Murata Machinery, LTD., Japan)

Tomohiro Yokozeki (University of Tokyo, Japan)

International Scientific committee

Suresh Advani (University of Delaware, USA)

Remko Akkerman (University of Twente, The Netherlands)

Alex Bogdanovich (USA)

Christophe Binetruy (Ecole Centrale de Nantes, France)

Francois Boussu (ENSAIT, France)

Valter Carvelli (Politecnico di Milano, Italy)

Julie Chen (University of Massachusetts Lowell, USA)

Tsu-Wei Chou (University of Delaware, USA)

Dominique Coupe (Safran Group, France)

Brian Cox (USA)

Thomas Gries (ITA, Germany)

Frank Ko (University of British Columbia, Canada)

Stepan Lomov (KU Leuven, Belgium)

Andrew Long (University of Nottingham, UK)

Alfred Loos (Michigan State University, USA)

Asami Nakai (Gifu University, Japan)

Ignas Verpoest (KU Leuven, Belgium)

Masaru Zako (Osaka University, Japan)

協賛行事 第14回若手シンポジウム～材料分野の仕事と研究の魅力～

- 日時** 2019年11月30日(土)
- 会場** 同志社大学大阪サテライト・キャンパス (大阪市北区梅田 1-12-17)
- 主催** 日本材料学会関西支部
- その他** 詳細は HP (<http://www.jsms.jp/kaikoku/kansai20191130.htm>) をご参照下さい。

協賛行事 第170回講演会「東工大・鞠谷研をのぞいてみよう」

- 期日** 2019年12月12日(木)
- 会場** 東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区大岡山 2-12-1)
- 主催** プラスチック成形加工学会
- 内容** 詳細は HP (https://www.jspp.or.jp/kikaku/lecture_meeting/lecture170.html) をご参照下さい。

協賛行事 第171回講演会「基礎から学ぶレオロジー」

- 期日** 2019年12月24日(火)
- 会場** 浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス (東京都台東区浅草橋 1-22-16)
- 主催** プラスチック成形加工学会
- 内容** 詳細は HP (https://www.jspp.or.jp/kikaku/lecture_meeting/lecture171.html) をご参照下さい。

お知らせ FMC12月度セミナー

FMC (ファッション素材センター) の5月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

- 期日** 2019年12月6日(金) 18.15~20.00
- 会場** 大阪産業創造館 5F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)
- 内容** 素材への新しいアプローチが始まったブルミエールヴィジョン

20-21A/W の素材は消費者や販売を念頭に置いた新しいものづくりとしての挑戦が始まった。技術の進化を伴う素材は多様化し複雑なものになるが、エコやサステナビリティをフィルターとしてより人間的な未来に向かって飛び発つ 2020 年代の出発点でもある。◎新しい素材感に挑む◎スポーツウエアとタウンウエアの接近◎繊細なハメ外し◎エコ意識を伴うイノベーションの4つが重点ポイントになる。

- 講師** (株) ミックプランニング代表、ファッションマーケティング&テキスタイルディレクター北川美智子
- 参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 12 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になります。]

申込 「FMC12 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、12 月 5 日 (木) までに E-mail にてお申し込み下さい。

申込先 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC 事務局
E-mail : fmc.office.mail@gmail.com

お知らせ 日本繊維機械学会フェロー会 「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では、2008年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。日本繊維機械学会フェローとは、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です。2012年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました。社会貢献を目的として、日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております。

日本繊維機械学会フェロー会の活動

1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に、繊維のすばらしさを伝える目的で行っています。繊維のすばらしさを伝える伝道師として、フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して、赤色のブルゾンを身につけ、子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています。

過去の開催内容は学会HPのフェロー会ページ (<http://tmsj.or.jp/fellow/report.html>) で閲覧できます。

2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として、フェローに成功と失敗談、光と影の部分を腹藏なく語っていただく講演会です。また、学会行事と連携して基礎講座も行います。

3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています。相談事項がございましたら学会HPのフェロー会ページ (http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html) の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき、相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください。相談内容は関係者以外には秘密保持致します。内容によっては相談に応じられない場合が有ります。なお、内容によっては費用が発生する場合があります。

4. 出前講義

小、中、高等学校から一般の方々、企業を対象に繊維に関する出前講義を行います。出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください。

問合せ先 日本繊維機械学会フェロー会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL 06-6443-4691, FAX 06-6443-4694

E-mail : info@tmsj.or.jp

お知らせ 日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に、日本繊維機械学会のFacebookページを2018年7月に開設しました。最新情報や開催行事報告等を、お伝えします。

すでにフェイスブックをお使いの方は、ぜひ「いいね！」をお願いします。

お知らせ 令和2年度公益信託家政学研究助成基金

一般社団法人日本家政学会は、家政学及びその境界領域に於ける優れた研究に対して助成することを目的として公益信託 家政学研究助成基金（英語名：Charitable Trust Fund for Home Economics Research）を設定しました。下記の応募内容に従ってご応募ください。

1. 目的

家政学及びその境界領域の若手研究者に対して研究助成を行い、家政学の発展に寄与し、世界に貢献できる人材の育成を目的とする。

2. 資格

①家政学及びその境界領域の自然科学分野などの大学院課程に在籍する者、又は大学及びその他の研究機関で研究を遂行している45歳未満（令和2年4月1日現在）の教員及び研究者で成績、業績ともに優秀であり優れた人格を有する者。

②家政学及びその境界領域の自然科学分野などで研究活動を行っている外国人で日本の大学の大学院課程に正規の学生として入学許可を取得した者、あるいはこれに準ずる留学生で成績、人格ともに優れた者。

③本研究助成の過年度受賞者で受賞後5年を経過している、上記①又は②の資格を有する者。

3. 研究助成期間

原則として1ヶ年とする。但し、運営委員会が助成期間延長の必要性を認めた場合には、最長6ヶ月間まで延長することができる。

4. 研究助成金額

2.の中から、3名程度の者に1名当たり50万円を限度として助成する。

5. 研究助成者の選定

公益信託家政学研究助成基金運営委員会において、応募書類審査の結果をもとに選定する。

6. 決定の通知

決定され次第、採否、助成金額、交付時期等を直接申請者に通知する。

7. 助成金の取消

下記の何れかに該当する場合は、助成金の支給を取り消すことがある。

①研究助成者として、著しく名誉を汚す行為があった場合。

②申請書類の記載事項に虚偽があった場合。

8. 助成金による成果の報告

研究助成者は、令和3年3月末迄に、所定の研究成果報告書を提出しなければならない。助成期間の延長が認められた場合には、その期間満了の時点で研究成果報告書の改定版を追加提出しなければならない。

9. 申請方法

申請者は、所定の用紙に必要事項を記載し、申請期限迄に次の事務局宛申し込む。

・応募締切：令和2年1月10日（金）必着

・申請書は三菱UFJ信託銀行HPに掲載されております。

URL：https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_list.html

10. 送付先

〒164-0001 東京都中野区中野 3-36-16

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部 公益信託課 家政学研究助成基金担当

TEL：0120-622372（フリーダイヤル） FAX：03-5328-0586

（受付時間 平日9.00～17.00 土・日・祝日等を除く）

E-mail：koueki_post@tr.mufg.jp（メール件名には基金名を必ずご記入下さい）

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

ジャーナル編集委員会

委員長	保田 和則 (愛媛大学)	
副委員長	金井 博幸 (信州大学)	小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)
	向井 康人 (名古屋大学)	
編集委員	上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)	植松 英之 (福井大学)
	金田 直人 (福井工業高等専門学校)	坂口 明男 (信州大学)
	廣垣 和正 (福井大学)	松岡 敏生 (三重県工業研究所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	山下 義裕 (福井大学)
	山本 貴則 (大阪産業技術研究所)	山本 剛宏 (大阪電気通信大学)
	與倉 弘子 (滋賀大学)	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

委員 長	武内 俊次（京都工芸繊維大学）		
委 員	中西 康雅（三重大学）	保田 和則（愛媛大学）	山下 義裕（福井大学）
	横山 敦士（京都工芸繊維大学）	若子 倫菜（金沢大学）	

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	白谷喜世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（新パーソナルカラー®協会 理事）
	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）
	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）